

解体撤去工事の進捗状況について

令和 8 年 3 月 2 3 日
豊田 P C B 処理事業所



I . 豊田 P C B 処理事業所の解体撤去工事の状況

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0	R 1 1	R 1 2	R 1 3
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
高濃度 P C B 廃棄物の処理	計画的処理完了期限	処理事業終了	▽R 6.8 液処理・分離処理設備廃止			解体撤去において安全かつ効率的に設備に付着した PCB を除去分別するために洗浄設備を活用				
解体撤去の工程	準備作業 ・ 4 S (整理、整頓、清掃、清潔)、事前調査の実施									
	事前作業 (配管やタンクの液抜き・洗浄等)									
	P C B 付着状況等調査									
	先行解体工事		高濃度 P C B を中心に扱う設備があるエリアの解体撤去 R 5 ~ 6 年度 : コンデンサー自動解体ライン解体撤去工事 R 7 ~ 9 年度 : 高濃度 P C B 取扱エリア等解体撤去工事							
工事準備		本解体工事 プラント設備※ 1 の解体撤去 高濃度 P C B を中心に扱う設備があるエリア以外								
						建屋除染工事		建築物解体工事		
						建屋 P C B の除去分別		建築物の解体撤去※ 2		
					↑ 今ココ					

※ 1 : 工程・工期等は今後の解体撤去工事の進捗に合わせて見直す。
 ※ 2 : 土壌汚染調査を実施し、P C B 処理による汚染がないことを確認する。



Ⅱ. 高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事

先行解体工事:高濃度PCBを中心に扱う設備があるエリアの解体撤去

【工事概要】

- (1) 施工会社:オオノ開発株式会社
- (2) 工事期間:令和7年10月～令和9年10月
- (3) 解体撤去管理レベルⅡ(低濃度PCB付着レベル)、Ⅲ(高濃度PCB付着レベル)
- (4) 解体撤去機器の合計重量:約723t(無害化处理:約392t、自社処理:約331t)
- (5) 解体対象機器は、大型／車載トランス解体エリア、小型トランス解体エリア、特殊コンデンサ解体エリア、裁断破砕エリア等の機器、その他搬送機器

解体撤去対象機器(例)



【大型トランス粗解体装置】



【特殊コンデンサ解体ライン】



【裁断破砕エリア】

Ⅱ. 高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事

(6) 解体撤去機器の処理

- ・低濃度PCBが付着した機器は、11月20日のフレコンバッグからの油の漏洩トラブルを受けて、再発防止策として、新たに作成した低濃度PCB廃棄物払出方法の判断フロー(別紙1参照)に従って、無害化处理認定施設へ払出します。
- ・高濃度PCB付着レベル等の機器は、4月22日に北海道事業所で発生した漏洩事案の再発防止策(切断方法の明確化や洗浄かごへの詰込時の確認等)を豊田事業所でも確実に実施した上で、真空超音波洗浄装置で処理し、内部確認が十分にできない配管等については、みなし低濃度PCB廃棄物として、無害化处理認定施設へ払出します。

尚、無害化处理認定施設へ払出した廃棄物については、全て再資源化を行います。

(7) 安全衛生対応

労働安全衛生法や解体撤去実施マニュアルに従って以下を実施します。

- ・安全衛生に係る協議組織の設置及び毎月1回以上の協議会の開催
- ・特定化学物質等作業主任者、保護具着用管理責任者等の選任
- ・安全衛生教育の実施
- ・解体撤去管理レベルに応じた保護具の着装等
- ・作業環境測定の実施
- ・血中PCB濃度等の測定
- ・その他(熱中症予防、定期安全パトロール、緊急時訓練の実施等)

Ⅱ. 高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事

(8) 環境関連対応

各種法令等や解体撤去実施マニュアルに従って以下を実施します。

作業時と同様に、負圧管理された状態で解体撤去工事を実施することから作業時と同じ環境モニタリングを実施します。

○オンラインモニターでPCB濃度をリアルタイムで監視




○周辺環境モニタリング(大気:年4回、地下水:年2回、土壌:年1回、騒音・振動:敷地境界で年1回)

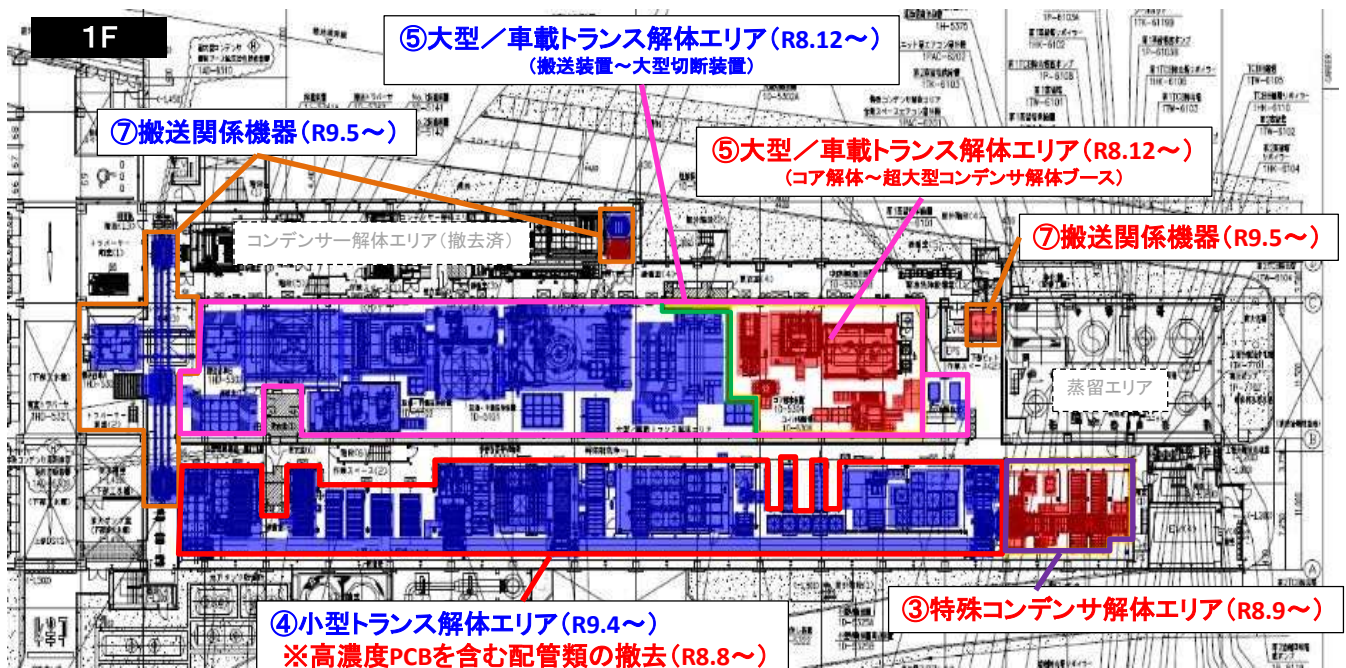
○排出源モニタリング(排ガス:年4回、排出水:年4回)

※令和7年度の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング結果は、別紙2を参照

高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事 対象エリア配置図 1F

※()内は、工事開始予定月

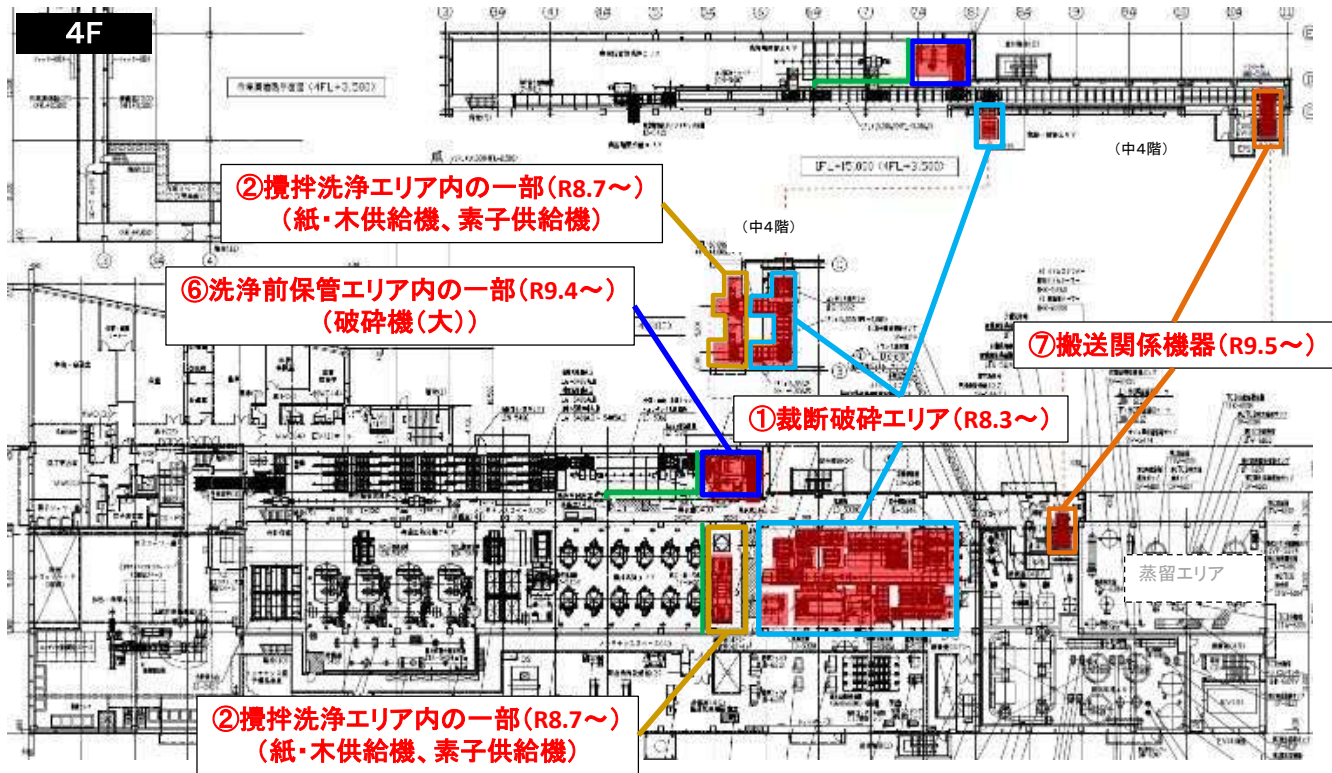
エリア名	: 解体撤去管理L 2		: 無害化処理対象機器
エリア名	: 解体撤去管理L 3		: 自社処理対象機器
			: 解体撤去管理レベル区画シート



高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事 対象エリア配置図 4 F

※()内は、工事開始予定月

エリア名	: 解体撤去管理L 2	■	: 自社処理対象機器
エリア名	: 解体撤去管理L 3	—	: 解体撤去管理レベル区画シート



【詳細工程】

高濃度PCB取扱いエリア等解体撤去工事工程

⇔ : 高濃度PCB付着レベルの装置の解体撤去
⇔ : 低濃度PCB付着レベルの装置の解体撤去

	2025年度		2026年度				2027年度		
	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月
契約期間	⇔ (Starts in 2025 Q3, ends in 2027 Q3)								
▲契約	⇔ (Starts in 2025 Q3, ends in 2025 Q4)								
仮設工事・準備期間	⇔ (2025 Q3-Q4)		⇔ (2026 Q1-Q2)		⇔ (2027 Q1-Q2)				
設備点検期間	仮設工事・準備工事		設備点検					設備点検	
①裁断破碎エリア	⇔ (2025 Q3-Q4)								
②攪拌洗浄エリア			⇔ (2026 Q1-Q2)						
③特殊コンデンサ 解体エリア			⇔ (2026 Q2-Q3)						
④小型トランス 解体エリア			高濃度PCBを含む配管類の撤去				⇔ (2027 Q1-Q2)		
⑤大型/車載トランス 解体エリア					⇔ (2026 Q3-Q4)		⇔ (2027 Q1-Q2)		
⑥洗浄前保管エリア (破碎機大)							⇔ (2027 Q1-Q2)		
⑦その他搬送機器							⇔ (2027 Q1-Q2)		

※ 工事の進捗状況や工事内容に変化等があった場合は、工程の見直しや変更があります。

【進捗状況】

①仮設工事・準備工事

令和8年1月に仮設事務所、仮設トイレを設置し、工事準備を行いました。



今後は、準備工事(仮設電源工事、配管・電気の縁切り位置のマーキング等)を行った後、裁断破碎エリアから電気離線工事、設備の解体撤去工事を行う予定です。



9

②工事開始前の必要書類の確認

- 施工計画書、要領書(手順書)については、JESCOで確認し、承認を行います。特に火気使用作業、高所作業、PCB漏洩に係る作業等については、安全審査会(提出された要領書の記載内容に関してJESCO、運転会社、オオノ開発が参加する審査会)を通じて、確認をしています。

③安全衛生に対する取り組み

- 令和8年2月に保護具着用安全教育、緊急時搬送教育を実施しました。引き続き、安全に関する教育を続けて行きます。
- オオノ開発、JESCO、運転会社等が参加する安全衛生協議会を11月から4回開催し、工事の準備状況や安全衛生に係る協議を実施しました。今後も1回/月開催します。



保護具着用安全教育の実施状況

緊急時搬送教育安全教育の実施状況

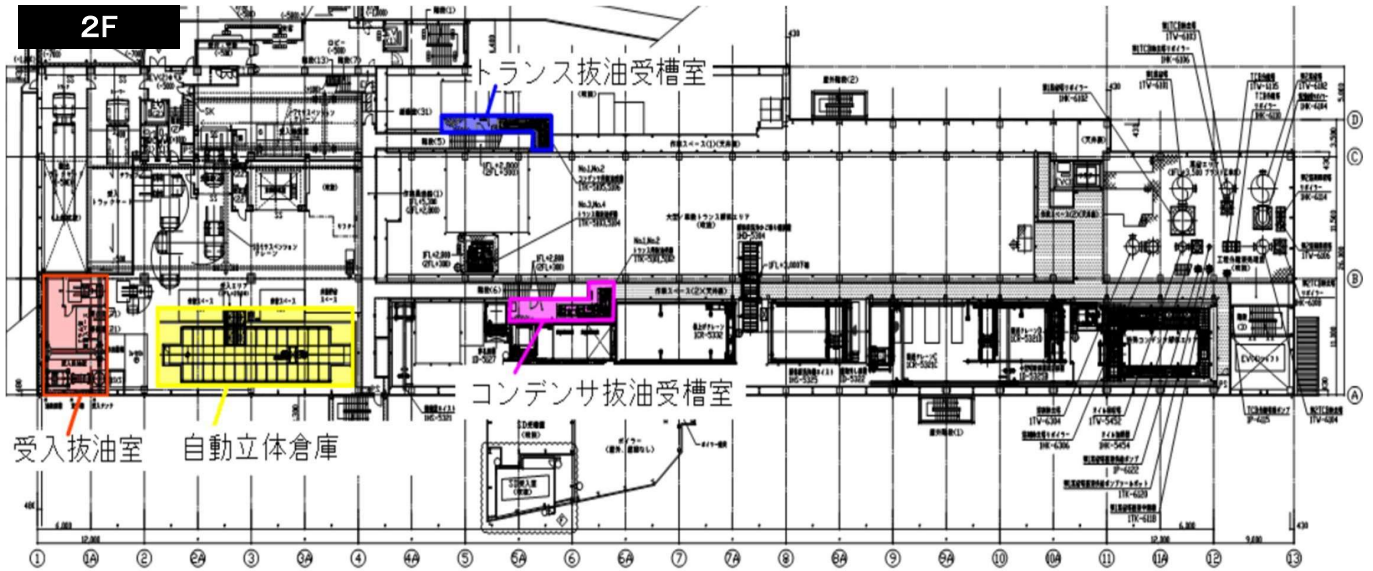


10

Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）

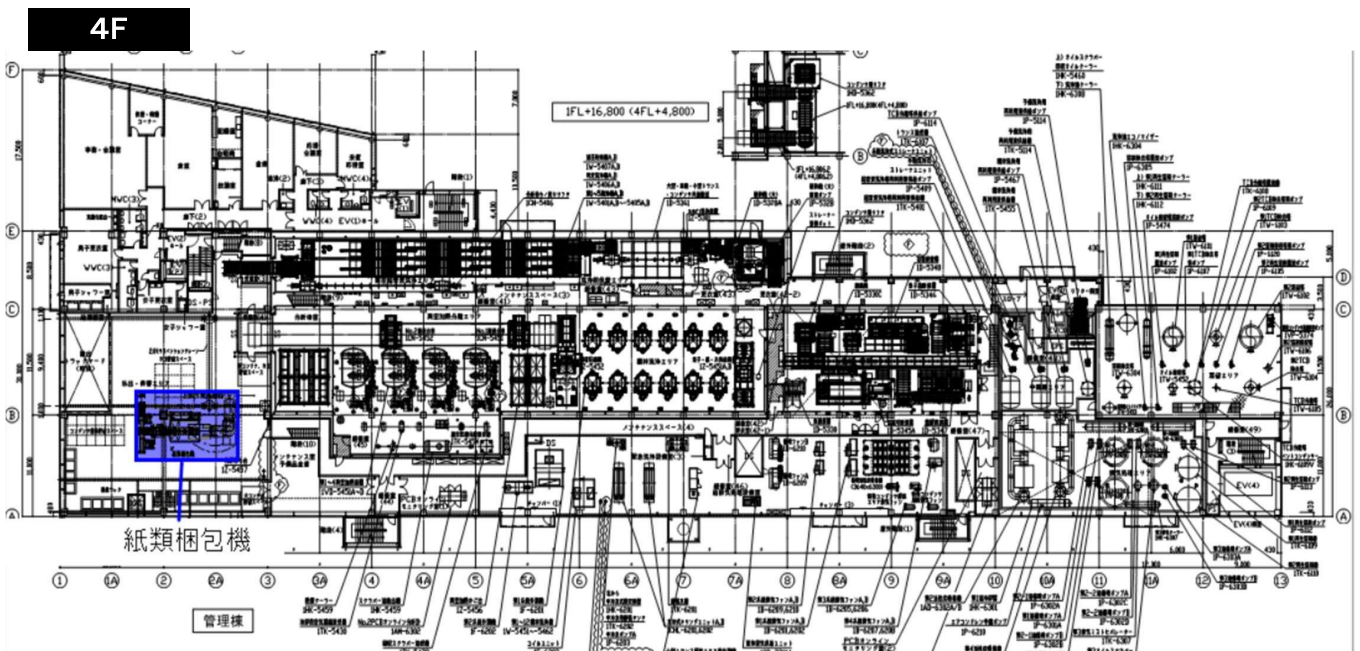
先行解体工事やプラント解体工事を効率的に進めるために保温材、配管、工程の律速となる設備の撤去並びに廃棄物置場の整理などを実施しました。
 主な解体工事は以下となります。

- ①各エリアの保温材・配管解体撤去工事
- ②受入抜油室解体撤去工事【2F】
- ③紙類梱包機解体撤去工事【4F】、自動立体倉庫解体撤去工事【2F】
- ④コンデンサ・トランス抜油受槽室解体撤去工事【2F】



11

Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）



12

Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）

①保温材・配管等解体撤去工事（未報告案件）

（保温材撤去：解体撤去管理レベルⅠ、配管等撤去：解体撤去管理レベルⅡ）

北九州事業所の解体撤去工事の先行事例を踏まえ、解体後の容積が大きく置場等の律速となる保温材や配管等について、事前に解体撤去を進めています。

保温材・配管等の撤去



解体撤去前



保温材撤去



配管等撤去

解体撤去中



解体撤去後

Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）

②受入抜油室(2F)解体撤去工事(未報告案件)

（工事期間：R7.6月～R7.9月、解体撤去重量：合計約5t、解体撤去管理レベルⅢ）

高濃度PCBが付着している配管等を解体撤去し、一部をJESCO大阪事業所へ運搬、VTR（真空加熱分離設備）による処理を行いました。

受入抜油室



解体撤去前



解体撤去中



解体撤去後

Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）

③紙類梱包機(4F)解体撤去工事、自動立体倉庫(2F)解体撤去工事(未報告案件)
 (工事期間:R6.10月～R7.8月、解体撤去重量:合計約22t、解体撤去管理レベルⅠ)
 本格的に解体撤去工事を行う前に、低濃度PCB廃棄物や工事用資機材類保管スペースを確保するために、受入・払出エリアの設備の一部の解体撤去を行いました。

紙類梱包機



自動立体倉庫



解体撤去前

解体撤去後



Ⅲ. その他の解体撤去工事（事前作業）

④コンデンサ・トランス抜油受槽室解体撤去工事(未報告案件)
 (工事期間:R7.11月～R8.2月、解体撤去重量:合計約7t、解体撤去管理レベルⅡ)
 高濃度PCB付着の恐れが有り、非常に狭隘なスペースにプラント設備が設置してあるコンデンサ・トランス抜油受槽室の解体撤去工事を行いました。同エリアにアクセスするために通路の一時通行規制を行い、階段を経て解体撤去物を運びだす難易度の高い工事となりました。

トランス抜油受槽室

コンデンサ抜油受槽室

トランス抜油受槽室

コンデンサ抜油受槽室



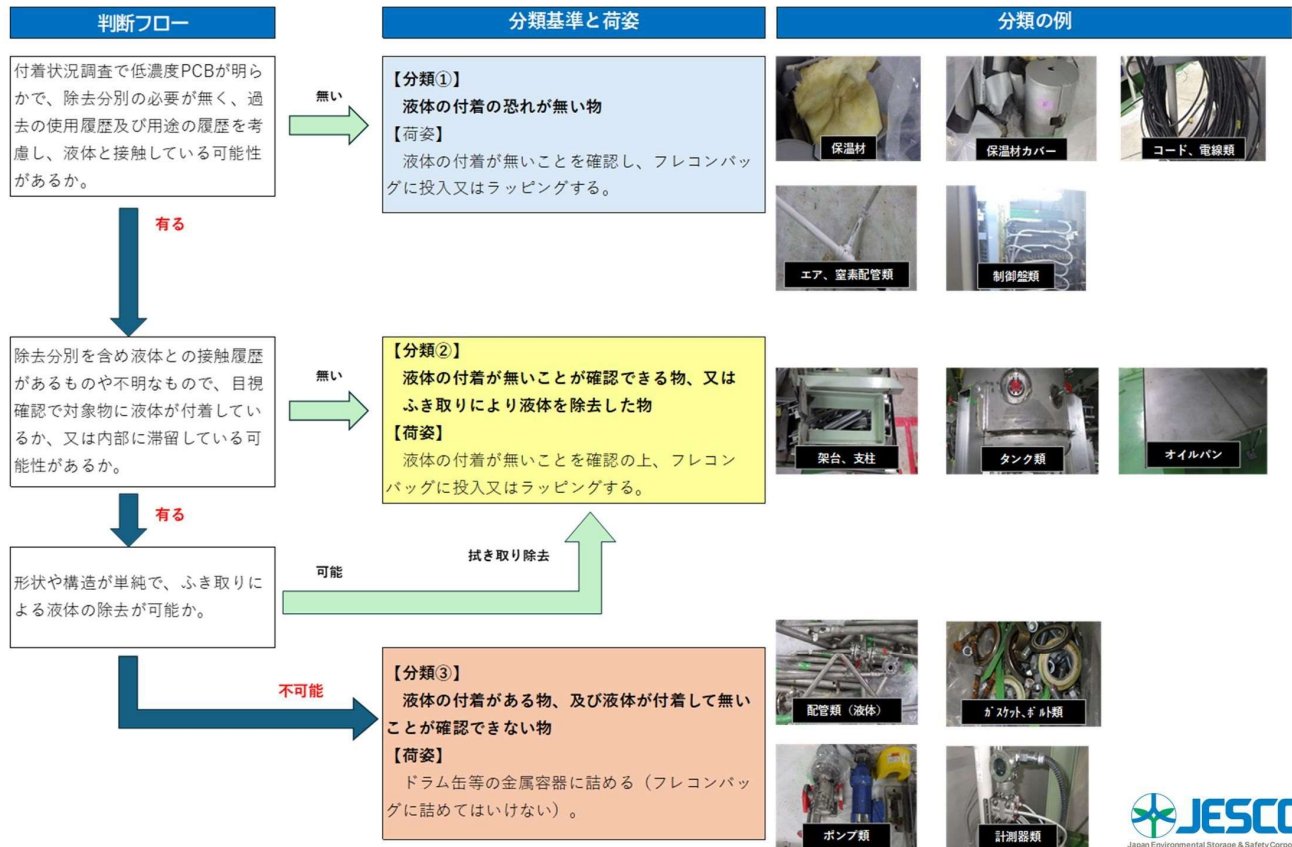
解体撤去前

解体撤去後



【別紙1】

低濃度PCB廃棄物払出方法の判断フロー



【別紙2】

令和7年度 周辺環境モニタリング及び排出モニタリング結果

<周辺環境モニタリング> (「<」はその値未満を示す。以下同じ。大気の単位「mg/m³」「pg-TEQ/m³」は20℃、101.3kPaにおける大気中の濃度を示す。)

区分	測定項目	測定地点	単位	測定結果				(参考) 環境基準値等
				4月	7月	10月	1月	
大気	PCB	敷地境界	mg/m ³	0.00000032	0.00000078	0.00000035	測定中	0.0005以下であること 1年平均値が0.6以下であること 1年平均値が0.003を超えないこと
	ダイオキシン類		pg-TEQ/m ³	0.011	0.011	0.011	測定中	
	ベンゼン		mg/m ³	<0.0003	<0.0003	<0.0003	測定中	
土壌	PCB	施設内	mg/L	/	/	<0.0005	/	検出されないこと(0.0005未満) 1000以下であること
	ダイオキシン類		pg-TEQ/g	/	/	4.1	/	
地下水	PCB	観測井	mg/L	<0.0005	/	<0.0005	/	検出されないこと(0.0005未満) 1以下であること
	ダイオキシン類		pg-TEQ/L	0.059	/	0.057	/	

測定地点は添付1による

<排出源モニタリング> (単位「mg/m³N」「ng-TEQ/m³N」は0℃、101.325kPaにおける排ガス中の濃度を示す。)

区分	測定地点	測定項目	単位※	測定結果				管理目標値
				4月	7月	10月	1月	
排気	1～4系ガラリー	PCB	mg/m ³ N	<0.001	<0.001	<0.001	測定中	0.01
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.000029	0.00063	0.000019	測定中	0.1
		ベンゼン	mg/m ³ N	<0.5	<0.5	<0.5	測定中	50
	5系	PCB	mg/m ³ N	<0.001	<0.001	<0.001	測定中	0.01
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000087	0.0000032	0.0000066	測定中	0.1
	6系	PCB	mg/m ³ N	<0.001	<0.001	<0.001	測定中	0.01
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.00021	0.0005	0.00018	測定中	0.1
	3-2系	ベンゼン	mg/m ³ N	<0.5	<0.5	<0.5	測定中	50